



編者：滝沢市国際交流協会 Tel：019-643-6591、E-mail：[yokakokk@poplar.ocn.ne.jp](mailto:yokakokk@poplar.ocn.ne.jp)

Homepage：<https://takizawaicc.wixsite.com/takizawashi-kokusai> No.3, 2018年5月10日発行

## 2018年度定期総会を終えて

2018年4月8日（日）に、ビッグルーフ滝沢で当協会設立後はじめての定期総会を開催する事が出来ました。

昨年6月に当協会設立後、比較的短期間ではありましたが、スペイン語会話講座、英会話講座、国際交流フェスティバル、日本文化理解講座（箏、茶道）等を開催できましたのは、また、滝沢市教育委員会等が主催する多くの事業に協力・支援が出来ましたのはひとえに会員の皆様、また関係機関・団体の多大な支援、温かい配慮があったればこそと深く感謝を申し上げます。



柳村典秀滝沢市市長より挨拶

さて、本年度は設立2年目になります。昨年度と同様、関係機関・団体と密接に連携を取りながら事業を進め、また、新規会員の加入を促進して協会運営の安定化を図ります。独自事業として、国際交流フェスティバル in TAKIZAWA、語学講座、日本文化理解講座、また、在住外国人支援を行うとともに、本年度より新たに海外との双方向交流事業への取り組みも開始いたします。このための第一歩として、6月1日（金）に、ニュージーラ

ンド、クライストチャーチ市教育協議会の及川氏を招き、滝沢南中学校において、ニュージーランドスタイルの体験授業を実施致します。

私共、理事一同、国際交流や任意団体の運営についての経験が浅く、また、多忙な日常生活の中で、試行錯誤と時には失敗を重ねながらも、皆様の多大な支援を得て、滝沢市、滝沢市民の国際化、多文化共生社会の実現のために一歩ずつ前進して行きたいと考えております。異なる民族や歴史、伝統、文化等と触れ合い体験することはこれからの社会で決して欠かせないことでしょう。また、ILCなどの世界的な事業の誘致や、外国人就労者、観光客等の増加が見込まれるなか、その必要性は一層増していると考えられます。



滝沢市国際交流協会理事と会員の小原健司さん

私共、理事一同、微力ながら精一杯、本年度の事業を一歩ずつ進めてまいります。皆様の温かいご支援を心よりお願い致します。

滝沢市国際交流協会  
会長 田村良文

# ニュージーランドの地域社会は学校が中心 —スクールコミュニティ—



ニュージーランドは94%が公立学校ですが、その学区は非常に広く、歩いて通えないのが普通です。ですから大体500~600人の生徒であれば半数以上を保護者が自家用車で送り迎えしています。因みに、クライストチャーチ市は人口約37万人ですが、小中高で約160校（私立含む、学区ありなし併用制）あり、そこに約7万人程度の児童、生徒が分散しています。そしてこの学区が非常に大事な地域づくりのファクターになっており、学校を中心とした地域社会、“スクールコミュニティ



14歳未満鍵っ子禁止法の看板（中央）

“が強固な地域ほどその地域は良い地域だと評価されます。スクールコミュニティにおける最も重要な視点は、全体・同調主義（全員が参加しなければならないという窮屈な義務感）ではなく、部分最適・自発主義（出来る人が担う、出来ない人は感謝する互助社会形成）がベースとなっていることです。特にP(T)A活動における自発性や、行事参加（する・しない）の決定観の自由度の高さは、“それぞれが心地よく暮らす”ことを尊重し合う地域づくりとして学ぶことができるでしょう。

一方で地域はそれぞれ特徴を持っており、社会的に地位の高い裕福な人々が住んでいる地域もあれば、生活が困難な、一人親が多い、あるいは所得が低い地域もあります。NZ教育省では、これらの学区を中心とした地域社会の「地域民力」を公的指標化していますが、単に所得比較だけではなく、例えば、「週に親と平日何回ご飯を一緒に

食べますか？」という項目もあります。仮に家計収入が高くても子供と一緒にご飯を食べる機会が少ない家庭は、“生活の質”が低いと見られます。一方で、住居についても家屋の大小ではなく、一人当たりの面積が問われます。つまり、所得や住宅格差だけではなく、ライフスタイルや子供の生育環境としての「地域」の目指すべき姿を示しています。

さらに驚くことに、これらの指標を一般に公開し、誰もが見られるようにしています。政府が公的な税金を使って、子どもの生育環境が困難な地域に手厚くサポートする根拠としているのです。地域民力が高ければ自助努力を促される一方、逆のエリアには政府助成金が手厚くサポートがなされるという社会公平感を生み出しています。

このように、スクールコミュニティとは、単なる地域社会の“経済力”だけに頼るのでもなく、



子ども発案の公園作り(トイレ壁面画)

逆に単なる学校の“学力比較”でもない、地域社会の“総合力”を示しています。それは官主導でセットされるのではなく、自主的なコミュニティ主導で進められ、自らの暮らしやすさと自らの子供たちの教育の質の向上に自主的に取り組んでいます。市民自立型の地域社会を実現の中心にはスクールコミュニティが存在するのです。

クライストチャーチ教育協議会  
及川孝信

## 海外で活躍する エクアドル その2 エクアドルのバレンタインデー



高橋 聡さん；滝沢市在住、JICA シニア海外ボランティアとしてエクアドルの首都、キト市で活動をされています。情報誌 No.2 に引き続き、現地の活動や生活の様子を紹介して頂きました。

エクアドルに赴任して初めてのクリスマスと正月を迎えました。クリスマスはオタバロ市の同僚の家に招待され、七面鳥を食べ、教会に行きましたが、正月は、特別な行事はなく、花火が打ち上げられたぐらいで、日常と比較してあまり変化がありませんでした。小生の所属する Agrocalidad は、1月に組織名が動植物防疫規制管理庁と名称変更しました。仕事の内容は変わりなく、農産物汚染対策課にて、日本へのカカオ豆輸出の農薬違反事例の改善と国内でのカカオ豆での農薬汚染発生を抑える対策をしております。日本から2名の分析技術者が12月上旬に派遣され、グアヤキル市にある民間分析研究所にて農薬残留分析の技術指導を実施して頂き、そのおかげで、研修後から3月末現在までに、違反事例が一件も報告されておられません。また、同僚とともに、農牧省技術者への GAP 研修（農業生産工程管理）も継続して手伝っていますが、こちらは、この問題がまだ、技術者や生産者に浸透しておらず時間がかかるかと思えます。カカオ畑の市場調査をして、改善を含む報告書を提出しました。ただ、エクアドルの一部地域だけなので、全国的な調査が必要です。



研修終了後、カカオ農家の前で、記念撮影

これはバレンタインの日にとった職場同僚の夫婦の写真です。エクアドルでは、男性が女性に贈り物をしますが、花を贈る男性が多いようです。これは、小生が一番素敵だと思ったバレンタインのプレゼントです。赤いバラの横の風船に AMOR(愛・アモール) と手書きをしています。「Mucho amor!」という「Si!」と嬉しそうにいます。「日本ではどうするの?」と聞かれ、「女性が男性にチョコレートを上げるが、義理チョコがあり、皆に配らないといけない」というと、大変だねという顔をされます。口が滑って、「男性が花を送るのは誕生日かな」というと、「サトシは、奥さんになんの花を送るの?」と聞かれて、思わず絶句。そして、「ヤジマゲダナ!」と西和賀弁でボソリ。しかも、根掘り葉掘り聞かれて、しどろもどろになり、64歳日本男児のアモール(愛)に不信感を持たせてしまったようです。彼女は、1週間、この真紅なバラを家に持ち帰らず、職場の自分の机に飾っていたので、毎日眺めていたら、どこかに行っていた小生のアモールも時々顔を出して、なんか、とっても、とっても幸せな気持ちの1週間でした。



アモール(愛)がいっぱいの二人です。

# 活動報告

## 幼児国際理解交流会

日時：2018年1月30日

場所：牧の林すずの音保育園

3歳児、4歳児、5歳児の保育園児への母国語での絵本の読み聞かせ、遊びに3名の外国出身の講師を派遣しました。



## 国際理解講座

日時：2018年1月31日、2月7日、2月14日

場所：滝沢ふるさと交流館

一般成人を対象とした国際理解講座へ3名の講師を派遣し、各講師は、世界各地の風土、暮し、国の歴史、文化などを紹介しました。紹介国は、ドイツ、ボリビア、ウルグアイ、イタリアです。

## 日本文化体験講座

日時：2018年3月4日

場所：滝沢ふるさと交流館

箏及び茶道体験講座を行いました。外国出身の方も数名参加し、日本文化を理解する良い機会となりました。講師は、箏講座が高司貴子先生、茶道が田中宗秀先生と田中宗忠先生でした。



問い合わせ先：

滝沢市国際交流協会 〒020-0692 岩手県滝沢市中鶴飼 55 番地  
滝沢市教育委員会生涯学習スポーツ課内

TEL：019-643-6591 FAX 019-687-6312 Mail: yokakokk@poplar.ocn.ne.jp



## 今後の事業等について

- ※ ニュージーランドスタイルの体験授業  
2018年6月1日、滝沢市立滝沢南中学校
- ※ 国際交流フェスティバル in TAKIZAWA  
2018年9月9日、滝沢ふるさと交流館
- ※ 英会話講座、スペイン語会話講座、日本語教室、日本文化理解講座を予定しています。詳細は追ってお知らせします。

## 会員募集

- ※ 滝沢市国際交流協会の活動に積極的に参加していただける会員を募集しています。
- ※ 会員の特典
  - ◎情報誌をお届けします。
  - ◎当協会主催の催し物の案内をお届けします。
  - ◎当協会主催の語学講座等に割引料金でご参加いただけます。
- ※ 年会費：個人会員 2,000 円 (大学生は 1,000 円)  
家族会員 3,000 円、団体・法人一口 5,000 円
- ※ 申し込みは、下記の問い合わせ先に、電話、FAX、またはメールでお願いします。

### 賛助会員 (50 音順)

協栄テックス株式会社、公立大学法人岩手県立大学、独立行政法人国立青少年教育振興機構国立岩手山青少年交流の家、南館歯科・小児歯科医院、有限会社機興社